

川瀬忍の青磁

天青から 静かなる青へ



2011年7月9日[土]～9月25日[日]

菊池寛実記念 智美術館

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-35 西久保ビルB1F

TEL03-5733-5131 FAX03-5733-5132

<http://www.musee-tomo.or.jp>

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、私ども菊池寛実記念 智美術館の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。当館の次回展覧会、「川瀬忍の青磁 天青から 静かなる青へ」展につきまして、ご案内させていただきます。

本展は、青磁の分野で秀でた作品を次々と発表している川瀬忍氏の、美術館における初めての個展です。川瀬氏は、中国明代の五彩や青花磁器を範として優品を制作してきた竹春(初代祖父、二代父)の家に生まれましたが、若いときから独自の作陶として追及したのは、宋代に完成された青磁の器でした。19歳の頃から40年以上にわたり取り組んできた氏の青磁は、繊細な青の色彩と巧みな造形により、常に高い評価を受けてきました。展覧会では、作陶の変遷を辿る過去の秀作から、本展のために制作する最新作までを厳選し、川瀬忍の青磁の魅力を存分にご紹介いたします。

つきましては展覧会の概略をご案内申し上げますので、本展を多くの皆様にお知らせいただき、周知にご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

敬具

■ 展覧会概要 ■

- 展覧会名 川瀬忍の青磁 天青から 静かなる青へ
- 会期 2011年7月9日(土)～9月25日(日)
- 観覧料 一般 1,000円 / 大学生 800円 / 小中高生 500円
- 主催 財団法人菊池美術財団
- 協賛 京葉ガス株式会社
- 会場 菊池寛実記念 智美術館 (〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-35 西久保ビル)
<http://www.musee-tomo.or.jp>
- 開館時間 午前11時から午後6時まで (入館は午後5時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日 (但し7月18日、9月19日は祝日のため開館)、7月19日(火)、9月20日(火)
- 展示内容 作陶家・川瀬忍の陶芸作品約70点により構成 (会期中展示替えの予定)
- 関連行事 会期中、講演会、対談、作家・学芸員による展示解説、西洋館見学会を開催 (開催日程はリリース4頁参照)。

展覧会に関するお問い合わせ先:

菊池寛実記念 智美術館(担当:高田、花里)

☎03-5733-5131 / FAX03-5733-5132

■ 展覧会内容のご案内 ■

理想の青を目指して

青磁の初源は古く、紀元前に中国で生まれ、現在まで 3500 年にわたって作り続けられた、豊かな歴史的背景を持つやきものです。宮廷から世に出た僅かな遺品以外、多くは謎に包まれる北宋の汝窯や、南宋官窯、日本にも多くの優品が伝わる龍泉窯など、時代と地域によって様々な青磁が作られてきました。青磁の最大の魅力は、気品を感じさせる形と、玉のような美しさを見せる釉色にあり、五代に天青*の色を求め造られるようになり発展、北宋時代に完成した、東洋陶磁を代表する陶磁といえます。なかでも、抑制のきいた器形に、静かで深い色を宿した汝窯は、高い品格と、「静かで、控えめで、暖かく、見る人を吸い込んでいく」ような、青磁の理想として、作家の遙かな目標となりました。



川瀬忍の青磁—色と形の魅力



1. 青磁大鉢 2010年

川瀬氏はそれら宋代の名作を数多く手にとり、理想の青磁を求めて長年にわたって挑んできました。その作品の造形は、初期には古陶の青磁を倣っていましたが、1980年代から独自の作風を求めようになり、現在にいたるまで、川瀬氏ならではの造形を展開させてきました。この作家の青磁の特色は清澄な釉調と品格の高い形であり、いかなる形に挑んでも、品性を失うことはありません。

土の特性を知り、シャープに薄く作られた形、淡く独特な青の釉色—川瀬忍の作品が発する魅力は、いずれも中国陶磁を学んできた家業から継承した技術的基盤と、作家自身の感性が合わさった結果生まれるものであり、他にはない現代青磁の造形として、見る者の精神に快い感動を与えます。特に 80年代より展開する、海芋や淡水エイ等、動植物の有機的なフォルムを抽象し、造形する作品は、色と形でみせる青磁の世界に、新たな可能性を示したものと いえます。

過去の秀作と最新作をはじめ一堂に展示

作家は個展を中心に作品を厳選して発表してきたため、活動の全体を概観する機会はいまだありませんでした。このたびの展覧は、名品研究から発した初期作品から、より自在な作風へと展開する近作、そして本展にて発表する最新作と、その 40 年以上にわたる作陶の変遷を一堂に見渡す貴重な機会となるでしょう。



初期の貫入を見せるタイプ[左]、近年発表された白色調の瓊瓷[中]、細密な刻文を施す物[右]など制作時期によって様々な展開する、青磁のバリエーション。

*天青とは、10世紀中頃、五代・後周の皇帝世宗柴榮が“雨過天青雲破処”の色を宿す青磁を作るよう命じた、という伝承に由来する表現で、雨上がりの澄んだ空の色、青磁の理想の色を示す言葉です。

■ 展覧会関連行事 ■

展覧会会期中、下記の関連行事を開催いたします。関連行事はいずれも参加費無料ですが、別途観覧料が必要となります。※講演会・対談は会場の都合により、満席の場合はお立ち見となる場合がございます事を、予めご了承くださいませ。

■ 講演会・対談

- ① **講演会 「青磁の名品を語る」** 7月30日(土)15時～16時半頃
林屋 晴三(当館館長)
- ② **対 談 「中国宋代青磁の魅力」** 8月13日(土)15時～16時半頃
川瀬 忍氏 × 伊藤 郁太郎氏(大阪市立東洋陶磁美術館名誉館長)
- ③ **対 談 「作家と語る— その作品をめぐる」** 9月3日(土)15時～16時半頃
川瀬 忍氏 × 諸山 正則氏(東京国立近代美術館工芸課主任研究員)

■ 作家によるアーティストトーク、ギャラリートーク

- **作家によるアーティストトーク** …各日 14時より
7月23日(土)／8月20日(土)／9月17日(土)
- **学芸員によるギャラリートーク** …各日 14時より
7月17日(日)、24日(日)
8月14日(日)、28日(日)
9月11日(日)、18日(日)

■ 西洋館見学会 (予約制・定員20名様)

7月16日(土)／9月10日(土) 各日 14時より

当館敷地内の西洋館(登録有形文化財)は、大正時代に建てられた後、修復を重ねながらも建具等の室内装飾が丁寧に保全され、今日まで使用されている希少な建物です。通常非公開の内部を、展覧会の期間中に特別公開いたします。

※西洋館のご案内(建築家 篠田義男氏による)、美術館観覧料(学芸員の解説付き)、レストラン ヴォワ・ラクテでのお茶・ケーキのサービスを含め、お一人様8,000円です。

作家略歴



川瀬 忍 (かわせしのぶ、1950/昭和 25 年ー)

- 1950 年 二代竹春の長男として、神奈川県大磯に生まれる。
- 1968 年 祖父(初代竹春)、父のもとで作陶を始める。
- 1976 年 第1回個展(現代陶芸・寛土里、赤坂)、以後個展を中心に活動。
- 1981 年 日本陶磁協会賞を受賞。
- 1985 年 壺中居(日本橋)にて第1回個展、以後、各年開催。
- 1996 年 “CONTEMPORARY JAPANESE CRAFTS” 出品(国際交流基金巡回展)。
- 2003 年 「白磁・青磁の世界展」出品(茨城県陶芸美術館)。
- 2005 年 “International Asian Art Fair”(Joan.B.Mirviss Ltd)にて個展(N.Y.)。
- 2006 年 「第1回智美術館大賞 現代の茶陶展」出品(菊池寛実記念 智美術館)。
- 2009 年 ニューヨークにて第2回個展(Joan.B.Mirviss Ltd)。
- 2010 年 「第3回智美術館大賞 現代の茶展」出品。
「茶事をめぐって 現代工芸への視点展」出品(東京国立近代美術館工芸館)。

貸出し画像

※掲載にあたっては、貸出し申込書リストのキャプションを表記のとおり入れてください。



2. 青磁香炉 1990 年



3. 青磁鉢 2006 年



4. 瓊瓷茶碗 2010 年



5. 青磁花入 1988 年



6. 青磁大鉢 2010 年

■本展覧会について広報媒体へ掲載、取材をいただく場合、本リリースで紹介されている作品画像をデータでお貸し出しいたします。申込書のご希望の図版に☑を記し、用紙を返信のうえ、お問い合わせください。ご紹介いただく記事、番組内容については、情報確認のため校正の段階で事務局までお知らせください。お貸し出す画像データは本展覧会終了をもって使用期限とさせていただきます。作品の画像を1点以上ご掲載の上、本展をご紹介くださる媒体に対し、本展ご招待券を読者プレゼント用に提供いたします。申込書、所定の欄に招待券希望の旨を明記してください。

掲載に関するお問い合わせ先 菊池寛実記念 智美術館 (担当：高田、島崎)

TEL.03 (5733) 5131 FAX.03 (5733) 5132 <http://www.musee-tomo.or.jp/>

掲載・画像貸出申込書

返信先 FAX: 03-5733-5132

●貴社基本情報

会社名:	
担当部署:	担当者名:
住所:	
電話	ファックス:
E-MAIL:	

●媒体情報

新聞 雑誌	媒体名:
	発行日:
TV ラジオ	媒体名:
	放送日:
ネット	URL:

●画像貸出リスト ※キャプションには作者/作品名/制作年、撮影者を必ず入れてください。サイズの単位はcm。

希望作品に☑	作品キャプション
<input type="checkbox"/>	① 青磁大鉢 2010年、高6.5×52.2×30.4 (撮影:鈴木薫)
<input type="checkbox"/>	② 青磁香炉 1990年、高9.0 × 径18.0 (撮影:鈴木薫)
<input type="checkbox"/>	③ 青磁鉢 2006年、高6.2 × 径27.2 (撮影:鈴木薫)
<input type="checkbox"/>	④ 瓊瓷茶碗(けいじちゃわん) 2010年、高7.5 × 径11.6 (撮影:尾見重治)
<input type="checkbox"/>	⑤ 青磁花入 1988年、高18.4(左) / 21.0(中) / 16.4(右) (撮影:鈴木薫)
<input type="checkbox"/>	⑥ 青磁大鉢 2010年、高15.4× 径32.4 (撮影:鈴木薫)

●読者プレゼント用チケット希望: 5組10名様 10組20名様